

令和5年度 第19回「尾口地区 白山市ミライ会議」概要

日 時：令和5年10月24日（火） 19：30～20：30

場 所：尾口公民館2階 集会室

参加団体等：尾口老人クラブ連合会会長、尾口連合青年団団長、スポーツ協会尾口支部長、一里野観光協会会長、白山ろく里山活性化協議会会長、尾口地区区長会、女性の会会長、尾口商工会代表、尾口民生委員会会長、鶴来地区交通安全協会尾口支部長、白山市食生活改善推進協議会山麓ブロック尾口地区代表、公民館長など

発言【1】

- (1) 白山白川郷ホワイトロードの親谷の湯の足湯で、10月初めにボーリングを行った際は湯が出たが、10月下旬に行った際は温度が下がっていた。親谷の湯は1カ月ももたないように感じる。春先に1度ボーリングするとか、何か対応できないか。ホワイトロードの管理事務所と市で、連絡を密に連携できないものか。
- (2) 「俳句のまち白山市」としてのまちづくりをしてほしい。

【市】

- (1) 今年度は温泉管のスケール除去を3度実施しましたが、想定よりも早くスケールが付着し温泉が止まってしまいました。今後スケール除去の回数を増やし、できるだけ休止とならないように検討します。
また、温泉に不具合があれば現在もホワイトロード管理事務所からは連絡をいただいておりますが、今後も更に連絡を密にするようにいたします。
- (2) 毎年、大人向けには千代女全国俳句大会、子どもには千代女少年少女全国俳句大会を行っています。また、初心者向けの俳句教室、少年少女俳句塾、市内全域に俳句ポストを設置し俳句に触れ合いやすい環境を整える等多岐にわたり事業を展開しております。今後も「俳句のまち白山市」として俳句文化の推進にしっかりと取り組んでまいります。

発言【2】

- (1) 地域活性化に関して、これまで市民提案型まちづくり支援事業の助成金をいただいで活動し、ようやく人が集まる状態まで進めたが、助成金は3年間で終わる。各地域の組織を気にかけてほしい。
- (2) 市と企業が協定を締結し災害に備えているが、地域の実情にあった提携はある

か。過疎で、この地域は人が少ないので、ここを通る業者に助けを求めるケースが出てくると思う。

【市】

- (1) 市民提案型まちづくり支援事業は、市民団体等が自主的に実施する新たな事業で、継続性や発展性等が見込まれることを前提に、運営基盤が整う初期段階の3年間について支援させていただいております。

また、各地区で設立する「地域コミュニティ組織」においても、地域課題について協議した上で、継続して取り組むことができると考えておりますので、ご検討いただきたいと思います。

来年度より地域コミュニティ組織が本格的にスタートしますが、従来、公民館が担ってきた生涯学習の取り組みは継続しつつ、予算を担保した中で、各種団体にも、ある程度の自由をもって予算執行ができる制度を考えております。予算配分された中で、皆様で相談していただき、引き続き地域活性化の活動に取り組んでいただきたいと思います。

- (2) 市は、災害時の物資供給、応急対策、施設利用等について、企業や民間団体と協定を締結しています。この協定については、災害時に必要がある場合には、災害対策本部（市）から協力を要請することになります。

例えば、新聞社との包括連携に関する協定では、災害時の対応や地域の防災、新聞配達を通して地域の見守りが期待できます。その他、山地や林道施設での災害発生時の応急対応のうち、オフロードバイク等による情報収集や物資輸送等に関して支援の協定を締結しています。

また、市内に所在する事業所等に、災害時にできる範囲で協力していただく、「災害時協力事業所登録制度」があります。各事業所が災害時に協力できる具体的な内容が事前登録されており、町内会長や自主防災組織の長からも応援要請が可能です。市ホームページに一覧を掲載しておりますので、そちらをご覧ください。市危機管理課または尾口市民サービスセンターにお問い合わせください。

発言【3】

- (1) 尾口連合青年団団長として活動している。私たち世代のほとんどが鶴来地域や金沢市に移住していて、尾口地区でイベントをしても集まらないのが現状。

世界ジオパークに認定されたこともあり、今後、白山ろく地域全体で、若者に活気ができるようなイベントを開催したり、同じ悩みを抱えた地域の方々の話し合いの場を設けて、地域活性化を目指したりすることができればいいと思う。

- (2) 東二口人形浄瑠璃保存会の東二口地区は十人ほどしかいない限界集落で、上演を定期的に行っている。会場となる会館も昭和58年建設で、壁が剥がれたり、

雨漏りで畳が濡れたり、非常に老朽化している。建物の改築も必要ではないか。

【市】

- (1) 生涯学習課では市内青年団に補助金を支出しており、市全体の青年団活動の推進の一助としています。世界ジオパーク認定は地元の良さを再発見できる契機となることから、市全域の青年団のみなさんと共に地域活性化に引き続き取り組んでいただきたいと思います。

また、市では「市民協働で創るまちづくり」の中で地域課題について協議する「地域コミュニティ組織」の創設を進めています。若い世代の地域間交流事業について地域で話し合い、互いに協力し合える仲間づくりについても「市民協働で創るまちづくり」で取り組むことができる課題の一つとして考えています。

- (2) 国指定重要無形民俗文化財「尾口のでくまわし」の保存継承には、人形等道具の保管や演舞の修練、人形芝居を披露するための設備が必要です。現施設は築後47年を経過しており、老朽化に加え耐震機能も不十分です。現施設の耐震補強も含めた改修、解体新築、他施設の再利用、他所での新築など複数の選択肢が考えられますが、方針が定まっていないのが現状です。もう一つの保持団体であり、舘畑地区で活動を行っている「深瀬でくまわし保存会」も活動場所に問題を抱えており、両者との共同利用も含めた施設のあり方も視野に含めて関係者と協議していきたいと考えております。

発言【4】

- (1) 瀬戸から一里野にかけてスノーシェッドが多く、中が暗く、外が明るいので、慣れない人は怖い。スノーシェッドの中を明るくできないか。

また、そのゾーンは、アスファルトがガタガタで走りにくい。合わせて直せないか。

- (2) 瀬戸から一里野に向かう道路では、除雪でセンターラインが削られて、春先にラインがなくなる。できればホワイトロードが開通するまでに、黄色いセンターラインを引いてもらえないか。

- (3) 北陸鉄道石川線を、西金沢駅でJRと接続して、金沢駅までつながらないか。

【市】

- (1) 国道であれば、道路管理者は国で石川土木事務所が管理移管を受けています。道路整備やスノーシェッドについて、市からも関係機関に要望していきたいと思えます。

- (2) 道路規制のセンターライン等について、白山警察署に確認したところ、ホワイ

トロードが開通する 6 月までに引き直す事は難しいですが、4 月頃に調査し、その後塗り直しをするとのことでした。

- (3) 北陸鉄道石川線の JR 北陸本線西金沢駅への乗り入れにつきましては、石川線の利便性を向上させ、存在価値を高める取り組みとして有効と思われます。費用面のほか技術的観点を含めて中長期的に検討する事項として、石川中央都市圏地域交通協議会の枠組みの中で、丁寧に議論してまいりたいと考えております。

発言【5】

少しでも早く、温泉を通して欲しい。

【市】

源泉施設の復旧も含めできる限り早急な温泉供給に尽力してまいります。関係機関である県・国には、折に触れて必ず温泉の要望をしています。国へ陳情に行った際にも、山ろく側の崖崩れ部分や砂防堰堤等も含めて国土交通省に話しをして来ましたし、今後も要望をし続けます。

なお、本年度は源泉施設被災状況把握の為、ドローンによる 3D 測量を実施しております。

発言【6】

東二口地区の鷲走ヶ岳・白抜山の草刈りを、もう 1 回増やせないか。年 2 回、お願いしたい。

【市】

鷲走ヶ岳・白抜山登山道除草の年 2 回実施については、今後検討していきたいと思っております。